

オオムギ斑葉病の発生が増加しています。 種子消毒を徹底しましょう。

近年、二条大麦において、オオムギ斑葉病が増加傾向にあります。本年5月に実施した調査では、斑葉病の発生ほ場率は50.0%と大きく増加しました（表1）。健全な麦の生産に向け、種子消毒を徹底しましょう（表2）。

表1 オオムギ斑葉病の発生状況（5月上旬：二条大麦調査）

ほ場数		発生ほ場率（%）
H29	18 ほ場調査	50.0
H28	16 ほ場調査	25.0
H27	18 ほ場調査	27.8
H26	18 ほ場調査	0.0
H25	18 ほ場調査	0.0
H24	16 ほ場調査	0.0

～特徴～

葉、葉鞘に細長い淡黄色または黄白色の条斑として、株全体に病徴が現れる。

病斑はしだいに黄褐色～黒褐色になり、表面にスス状のカビを密生する。

オオムギ斑葉病



オオムギ斑葉病（全身感染）



オオムギ斑葉病による穂枯れ

〈参考〉斑葉病に似た病気 —黒節病—

～見分けのポイント～

斑葉病は全身感染で、1株全体の葉に条斑が現れる（上写真）。黒節病（右写真）も葉に褐色の条斑が現れるが、症状は部分的であり、節にのみ病徴が現れることもある。



オオムギ黒節病

＜オオムギ斑葉病の防除対策＞

- ・種子消毒を行う。
- ・遅まきすると発生が増加するため、適期には種を行う。

★オオムギ斑葉病への種子消毒剤は処理方法により効果に変化し、一般的に**浸漬処理**＞**湿粉衣処理**＞**乾粉衣処理**の順で効果が高い。

表2 オオムギに登録のある種子消毒剤の主な適用一覧（平成29年9月12日現在）

農薬名	使用方法	希釈倍数 ・使用量	使用 時期	本剤の 使用 回数	成分	成分の 総使用 回数	FRAC コード *4
トリフミン水和剤 〈麦類〉	種子粉衣	種子重量の0.5%	は種前	1回	トリフルミ ゾール	3回以内 *1	3
ホームイ水和剤 〈麦類〉	種子粉衣	種子重量の0.5 ～1.0%	は種前	1回	チウラム	1回	M3
	6～24時間種子浸漬	200倍			チオファネー トメチル	*2	1
ベンレートTコート 〈麦類〉	種子粉衣	乾燥種子重量の 0.5%	は種前	1回	チウラム	1回	M3
					ベノミル	1回	1
ベンレートT水和剤 20 〈麦類〉	10～20分間種子浸漬	20倍	は種前	1回	チウラム	1回	M3
	6～24時間種子浸漬	200倍			ベノミル	1回	1
キヒゲンR-2フロ アブル 〈大麦〉	塗沫処理	乾燥種子1kg当 り原液20ml	は種前	1回	チウラム	1回	M3
ベフラン液剤25 (劇) 〈麦類(小麦を除く)〉	種子吹き付け処理 又は塗沫処理	乾燥種子1kg当 り原液3～5mL	は種前	1回	イミノクタジ ン	*3	M7
	10～30分間種子浸漬	250～500倍					

*1 種子粉衣は1回以内
 *2 〈麦類(小麦を除く)〉3回以内(種子への処理は1回以内、出穂期以降は1回以内)
 *3 〈麦類(小麦を除く)〉3回以内(種子への処理は1回以内、散布は2回以内)
 *4 FRACコードが同一のものは、作用点が同じなので連用を避ける。
 ○機械播きには種子粉衣または、短時間浸漬で処理する。

●種子消毒剤の処理方法

浸漬処理：種子を農薬の希釈液に所定の時間に漬ける処理方法。

湿粉衣処理：湿らせた種子に薬剤を添加しまとわせる処理方法。

乾粉衣処理：乾燥した種子に薬剤を添加しまとわせる処理方法。

塗沫処理：薬液を乾燥した種子にコーティングする処理方法。

詳細は、農業環境指導センター（TEL 028-626-3086）までお問合せ下さい。

病害虫情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi_nousei)」、農業環境指導センターホームページ（<http://www.jpnn.ne.jp/tochigi/index.html>）でもご覧になれます。